

Market eyes No.118

Daiwa Asset Management

オーストラリア『LNG』輸出拡大

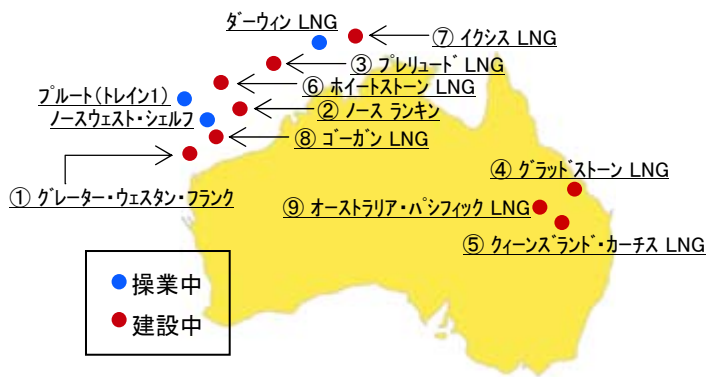
～『経常収支』黒字転換～

- ▶ オーストラリアは2010年以降、LNG(液化天然ガス)の開発に大規模な投資を行ってきた。2014年以降には、現在建設中のLNGプロジェクト【図表1】が完成の予定である。完成後には輸出の拡大が期待される。
- ▶ LNGの需要は世界的に拡大傾向にある。新興国の電力需要拡大でLNG需要が増大している。自国のエネルギー需要の拡大を補うため、輸出国から輸入国への転換を迫られる例もある。かつては日本にとって最大のLNG供給国であったインドネシアが昨年の12月に『2018年から20年契約で年間80万トンのLNGを米国から輸入する』と発表した。
- ▶ オーストラリアの輸出額第1位が鉄鉱石(構成比:22%)、第2位は石炭(17%)であるが(2012年)、この上位に

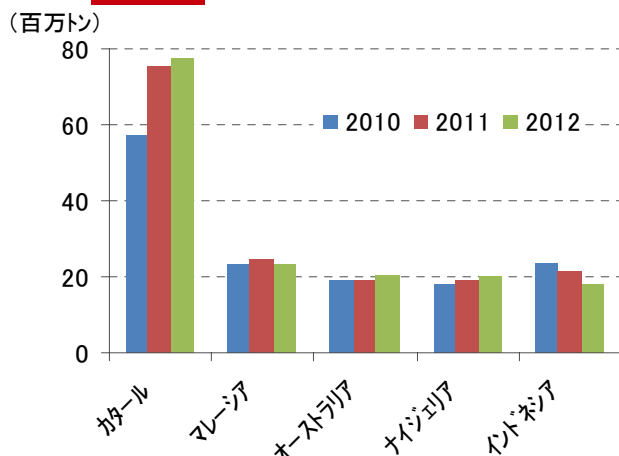
LNGが加わってくる。同国のLNG輸出量は、2010～2012年には2,000万トン程度であったが【図表2】、2017年には4倍の8,000万トン(金額では600億豪ドル)を上回る見込みである。2017～2020年にはカタルを抜いて世界最大のLNG輸出国になるとの予想もある。

- ▶ LNGの輸出増加が同国の恒常的な経常赤字を相殺することが期待される。早ければ2015年にも同国の経常収支が黒字転換するとの予想もあるが、黒字転換となれば、1975年以来の40年ぶりの黒字となる【図表3】。経常収支の黒字転換は豪ドル相場の後押し材料となり得る。

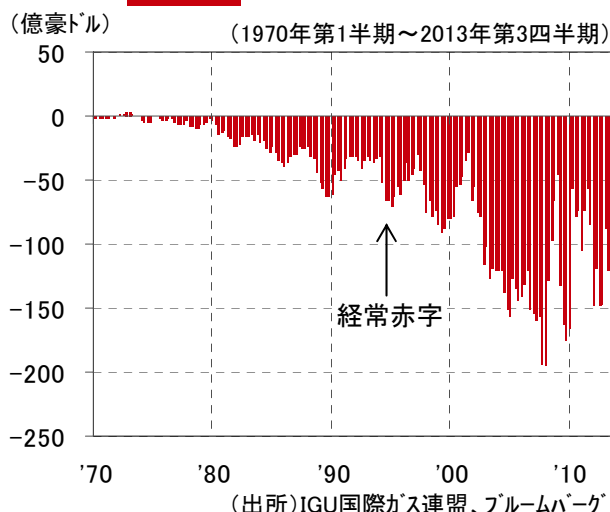
【図表1】 オーストラリア 主要LNGプロジェクト一覧



【図表2】 LNG輸出上位5カ国、年間輸出货量



【図表3】 オーストラリア 経常収支の推移



プロジェクト名	生産能力 (年間百万トン)	設備投資額 (億豪ドル)	完成予定
---------	------------------	-----------------	------

【操業中】

ノースウエスト・シェルフ	17.1	270	操業中
ダーウィン LNG	3.7	18	操業中
プルト(トレイン1)	4.3	150	操業中

【建設中】

① グレーター・ウェスタン・フランク	—	25	2016年
② ノース・ランキン(再開発)	—	53	2015年
③ プレリュード LNG	3.6	120	2016年
④ グラッドストーン LNG	7.8	162	2015年
⑤ クイーンズランド・カーチス LNG	8.5	196	2014年
⑥ ホイトストーン LNG	8.9	290	2016年
⑦ イクス LNG	8.4	352	2016年
⑧ ゴーガン LNG	15.6	520	2014年
⑨ オーストラリア・パシフィック LNG	14	350	2015～16年

投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、 3.15%* (税込) です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 3.24% となります。
換金手数料	料率の上限は、 1.26%* (税込) です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 1.296% となります。
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.121%* (税込) です。 ※ 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、 年2.1816% となります。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

◆ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ず確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。